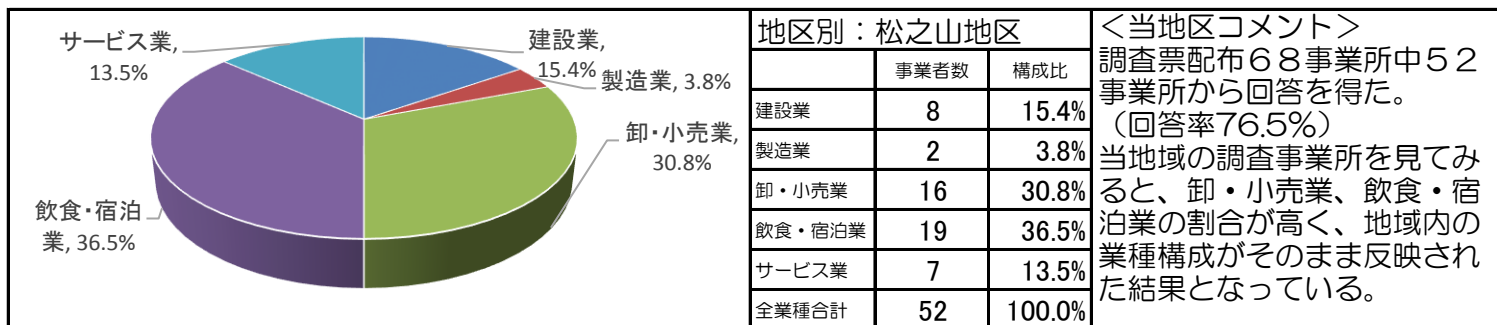
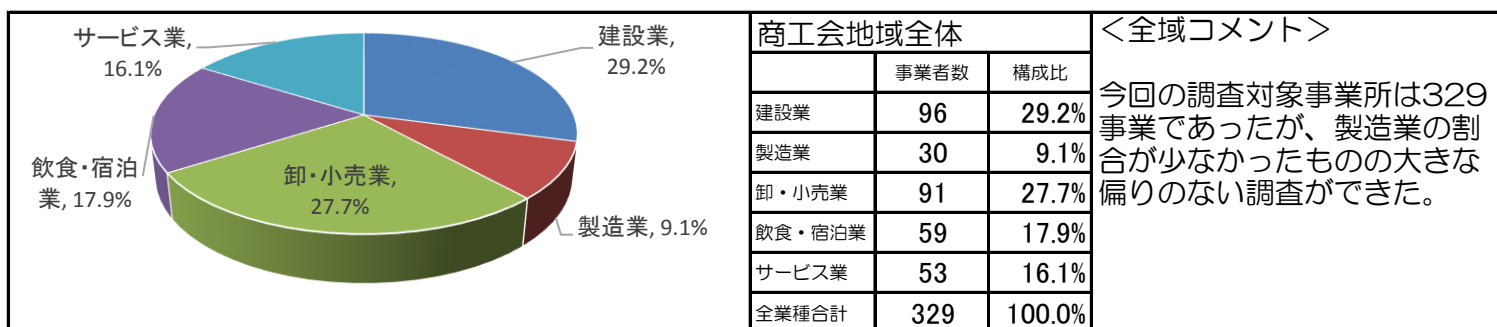


小規模事業者以外含む全事業所

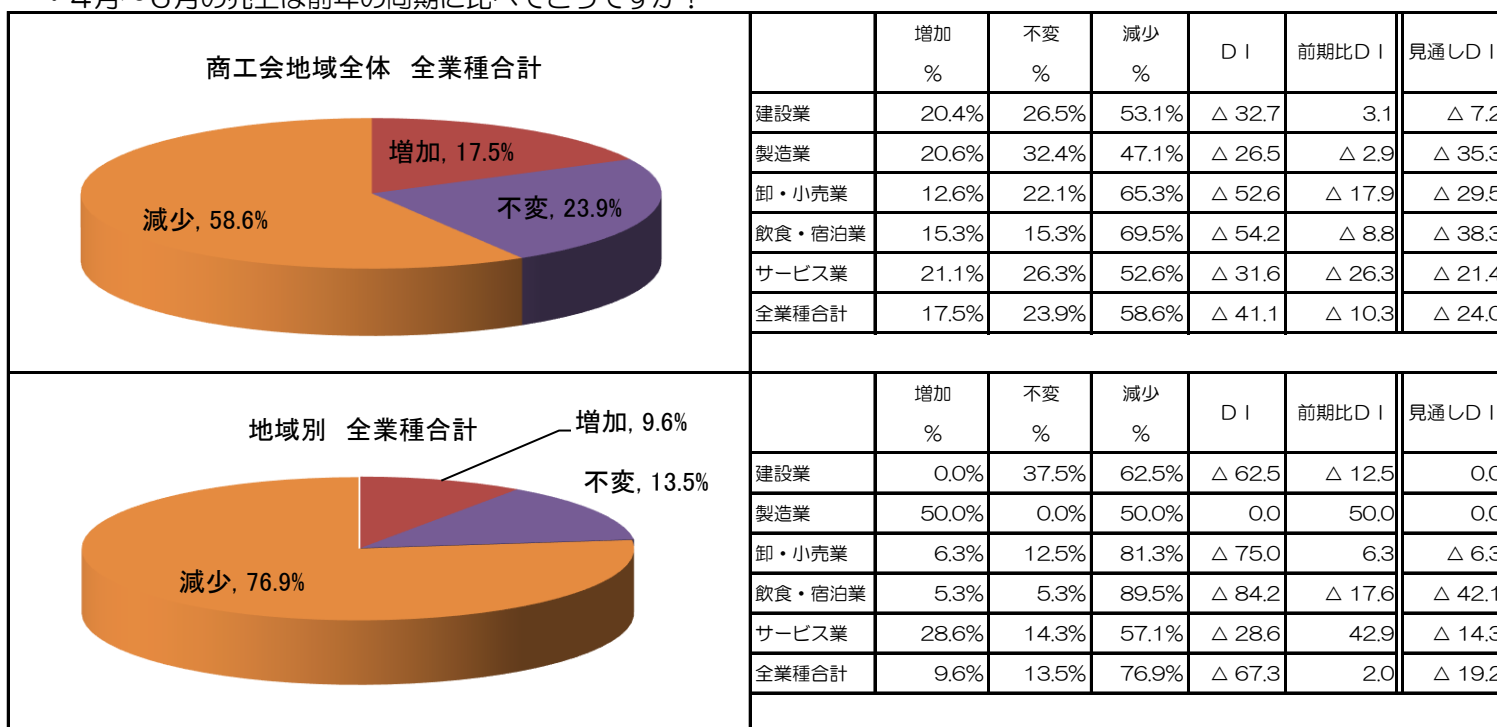
◇ 調査対象事業所構成割合



DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

1. 売上について

・4月~6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？



<全域コメント> 商工会地域全体の全業種売上は、前年同期と比べて△41.1ポイントと減少。特に飲食・宿泊業、卸・小売業は△50ポイント以上の減少。前期比でも建設業以外は減少となった。又、今後の見通しについても、建設業の減少幅が少ないものの総じて減少と予想している。

<当地区コメント> 当地域の全業種売上は、DI値△67.3ポイントと他地域を含む全体よりも26.2ポイント低い数値となっており、地域全体で売上が減少していることがわかる。建設業は小雪による春先の仕事量減少が影響しているものと思われる。また、卸・小売業、飲食・宿泊業では前年比△70ポイント以上となっており、売上減少が深刻な状況といえる。

2. 採算について

・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	18.4%	35.7%	45.9%	△ 27.6	△ 7.2	△ 17.5
		製造業	11.8%	55.9%	32.4%	△ 20.6	0.0	△ 17.6
		卸・小売業	13.7%	32.6%	53.7%	△ 40.0	△ 25.3	△ 26.3
		飲食・宿泊業	10.2%	20.3%	69.5%	△ 59.3	△ 26.3	△ 41.7
		サービス業	19.6%	35.7%	44.6%	△ 25.0	△ 28.6	△ 20.0
		全業種合計	15.2%	34.2%	50.6%	△ 35.4	△ 18.3	△ 24.6
地域別 全業種合計			好転 %	不変 %	悪化 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 50.0	△ 12.5
		製造業	50.0%	0.0%	50.0%	0.0	50.0	0.0
		卸・小売業	6.3%	25.0%	68.8%	△ 62.5	△ 25.0	△ 6.3
		飲食・宿泊業	10.5%	15.8%	73.7%	△ 63.2	△ 29.4	△ 42.1
		サービス業	28.6%	28.6%	42.9%	△ 14.3	14.3	△ 14.3
		全業種合計	11.5%	25.0%	63.5%	△ 51.9	△ 22.0	△ 21.2

<全域コメント> 商工会地域全体の採算は、前年同期と比べて全業種合計で△35.4ポイント悪化。特に飲食・宿泊業は△59.3ポイントと悪化、次いで卸・小売業が△40.0ポイントと悪化を示している。前期比では、製造業以外は悪化。今後の見通しでは、製造業も含んで悪化と予想している。

<当地区コメント> 当地区の採算は、売上同様市内商工会地域全体よりも16.5ポイント低い数値を示している。卸・小売業、飲食・宿泊業が△60ポイント以上を示しており、観光客に関連する業種が悪いことがうかがえる。また、建設業、製造業においても△50ポイントとなっており、売上に比例して採算も悪化していることがうかがえる。

3. 仕入単価について

・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	23.7%	71.1%	5.2%	18.6	12.5	11.5
		製造業	29.4%	67.6%	2.9%	26.5	17.6	35.3
		卸・小売業	29.5%	60.0%	10.5%	18.9	14.7	9.5
		飲食・宿泊業	43.1%	50.0%	6.9%	36.2	19.6	15.3
		サービス業	28.3%	66.0%	5.7%	22.6	13.2	7.7
		全業種合計	30.0%	63.2%	6.8%	23.1	15.0	13.4
地域別 全業種合計			上昇 %	不変 %	低下 %	D I	前期比D I	見通しD I
		建設業	25.0%	75.0%	0.0%	25.0	25.0	25.0
		製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	50.0	0.0
		卸・小売業	37.5%	62.5%	0.0%	37.5	25.0	18.8
		飲食・宿泊業	22.2%	72.2%	5.6%	16.7	18.8	△ 5.6
		サービス業	16.7%	50.0%	33.3%	△ 16.7	△ 16.7	△ 33.3
		全業種合計	26.0%	68.0%	6.0%	20.0	18.8	4.0

<全域コメント> 商工会地域全体の仕入単価は、前年同期と比べて全業種合計では23.1ポイント上昇であるが、不変割合は63.2%である。前期比でも15.0ポイント上昇。今後の見通しでも、上昇予想傾向にある。特に製造業は35.3ポイントと大幅に上昇予想しており、売上原価が上昇傾向にあることがうかがえる。

<当地区コメント> 仕入単価については、他地域よりもDIポイント値も低く良い傾向にあるといえる。不変での割合も68%と高く、仕入単価については前年比大きな変動がないもようである。ただし、建設業、卸・小売業では今後の見通しで上昇を示しており、売上減少に加え売上原価の上昇による経営の悪化が見通しとして出ている。

4. 販売（客）単価について

・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	DI	前期比DI	見通しDI
<p>商工会地域全体 全業種合計 上昇, 7.4%</p> <p>減少, 29.2%</p> <p>不変, 63.4%</p>							
建設業		6.2%	76.3%	17.5%	△ 11.3	△ 7.3	△ 9.4
製造業		0.0%	75.8%	24.2%	△ 24.2	△ 9.1	△ 15.2
卸・小売業		8.4%	50.5%	41.1%	△ 32.6	△ 24.2	△ 26.3
飲食・宿泊業		3.4%	57.6%	39.0%	△ 35.6	△ 28.1	△ 26.7
サービス業		16.4%	61.8%	21.8%	△ 5.5	0.0	△ 13.0
全業種合計		7.4%	63.4%	29.2%	△ 21.8	△ 14.6	△ 18.3

地域別 全業種合計		上昇 %	不変 %	減少 %	DI	前期比DI	見通しDI
<p>地域別 全業種合計 上昇, 7.8%</p> <p>減少, 41.2%</p> <p>不変, 51.0%</p>							
建設業		12.5%	75.0%	12.5%	0.0	12.5	12.5
製造業		0.0%	100.0%	0.0%	0.0	50.0	0.0
卸・小売業		0.0%	56.3%	43.8%	△ 43.8	6.3	0.0
飲食・宿泊業		5.3%	42.1%	52.6%	△ 47.4	△ 29.4	△ 36.8
サービス業		33.3%	16.7%	50.0%	△ 16.7	33.3	0.0
全業種合計		7.8%	51.0%	41.2%	△ 33.3	0.0	△ 11.8

<全域コメント> 商工会地域全体の販売単価は、前年同期と比べて全業種合計では△21.8ポイント減少であるが、不変割合は63.4%である。前期比では△14.6ポイント減少。今後の見通しでは、全業種で減少と予想している。

<当地区コメント> 地域全体では不変割合が51%と半数が変動していないが、DI値から見ると△33.3ポイントとなっており、特に卸・小売業と飲食・宿泊業の減少ポイントが高い数値を示している。ただし、見通しでのDIポイントでは飲食・宿泊業でマイナスポイントを示しているものの、全体で上昇傾向を示しており今期よりも改善することに期待したい。

5. 資金繰りについて

・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

商工会地域全体 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	DI	前期比DI	見通しDI
<p>商工会地域全体 全業種合計 好転, 7.3%</p> <p>悪化, 30.4%</p> <p>不変, 62.3%</p>							
建設業		6.1%	62.2%	31.6%	△ 25.5	△ 11.3	△ 15.5
製造業		8.8%	79.4%	11.8%	△ 2.9	△ 2.9	△ 17.6
卸・小売業		7.4%	56.4%	36.2%	△ 28.7	△ 22.3	△ 22.3
飲食・宿泊業		6.8%	61.0%	32.2%	△ 25.4	△ 19.0	△ 28.3
サービス業		8.8%	63.2%	28.1%	△ 19.3	△ 12.3	△ 14.3
全業種合計		7.3%	62.3%	30.4%	△ 23.1	△ 15.0	△ 19.6

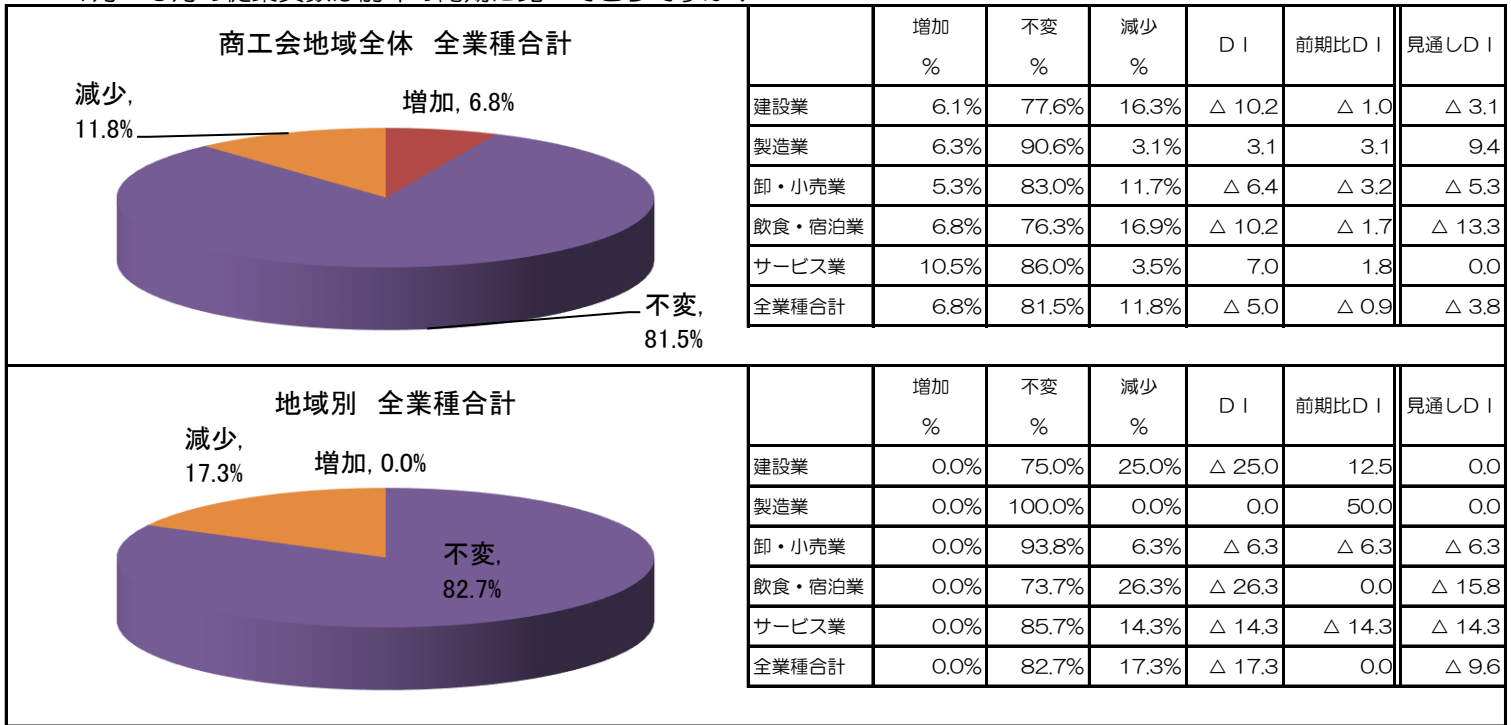
地域別 全業種合計		好転 %	不変 %	悪化 %	DI	前期比DI	見通しDI
<p>地域別 全業種合計 好転, 5.8%</p> <p>悪化, 38.5%</p> <p>不変, 55.8%</p>							
建設業		0.0%	62.5%	37.5%	△ 37.5	△ 25.0	0.0
製造業		50.0%	50.0%	0.0%	50.0	50.0	0.0
卸・小売業		0.0%	62.5%	37.5%	△ 37.5	△ 18.8	△ 18.8
飲食・宿泊業		10.5%	47.4%	42.1%	△ 31.6	△ 11.1	△ 26.3
サービス業		0.0%	57.1%	42.9%	△ 42.9	△ 14.3	△ 28.6
全業種合計		5.8%	55.8%	38.5%	△ 32.7	△ 13.7	△ 19.2

<全域コメント> 商工会地域全体の資金繰りは、前年同期と比べて全業種合計で△23.1ポイント悪化であるが、製造業は悪化の数値が低い。又、不変割合は62.3%である。前期比では全業種で△15.0ポイント悪化。今後の見通しでも、全業種で悪化と予想している。

<当地区コメント> 当地域の不変割合も55.8%と半数以上の事業所が資金繰りに変化を感じていない。ただし、DI値からは△32.7ポイントとなっており、地域全体に比べ9.6ポイント低い数値となっている。今後の見通しについては他地域全体と同ポイントだが、悪化傾向にあることがうかがえる。

6. 従業員数について

・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

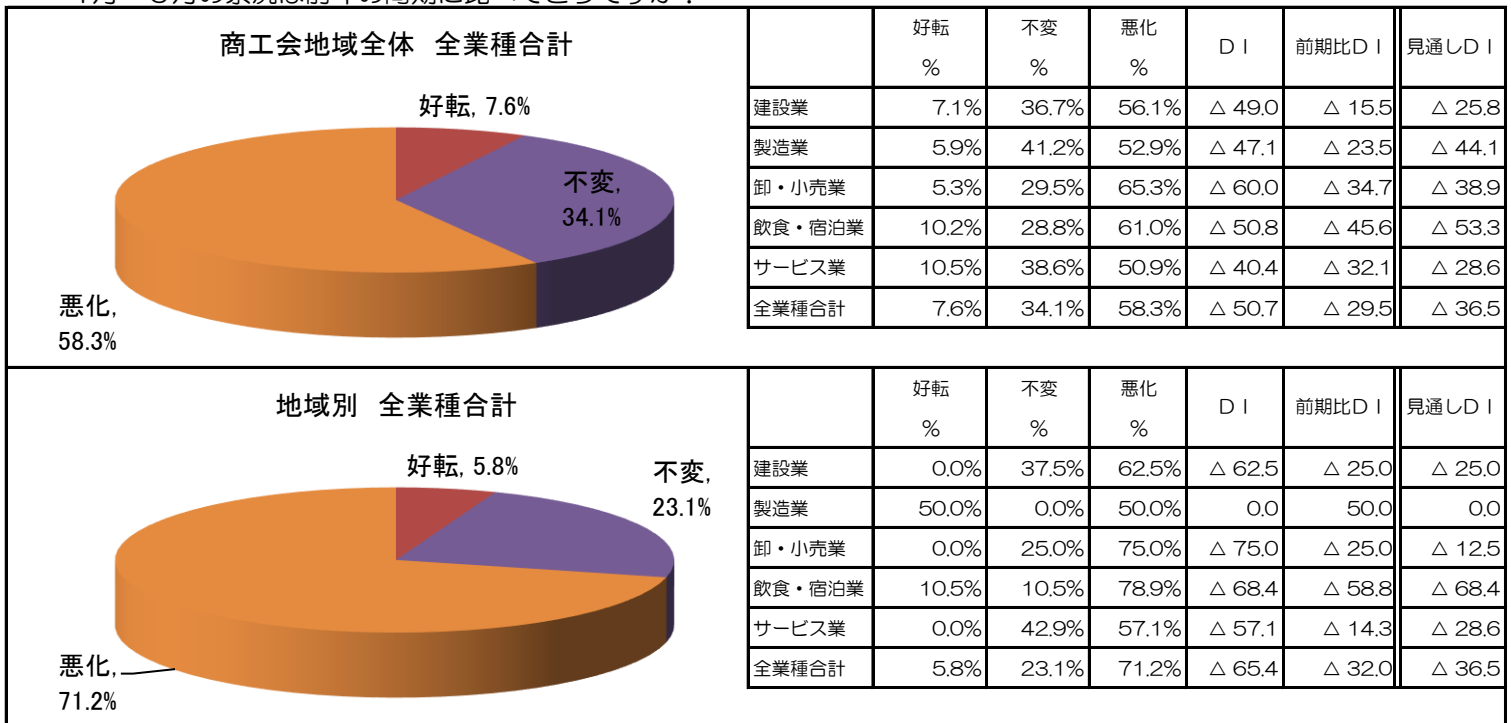


<全体コメント> 商工会地域全体の従業員数は、前年同期と比べて、全業種合計で△5ポイント減少であるが、製造業とサービス業は増加。又、不変割合は81.5%である。前期比でも前年同期比と同傾向。今後の見通しでは、製造業は増加、サービス業は不変予想をしているが、その他業種は減少と予想している。

<当地区コメント> 当地域の従業員の変動は8割以上の事業所が不変と回答しているが、増加の事業所は無く2割弱の事業所で減少している。また、今後の見通しでも△9.6ポイントを示しており、地域内雇用においても厳しい状況が継続しそうである。

7. 景況判断について

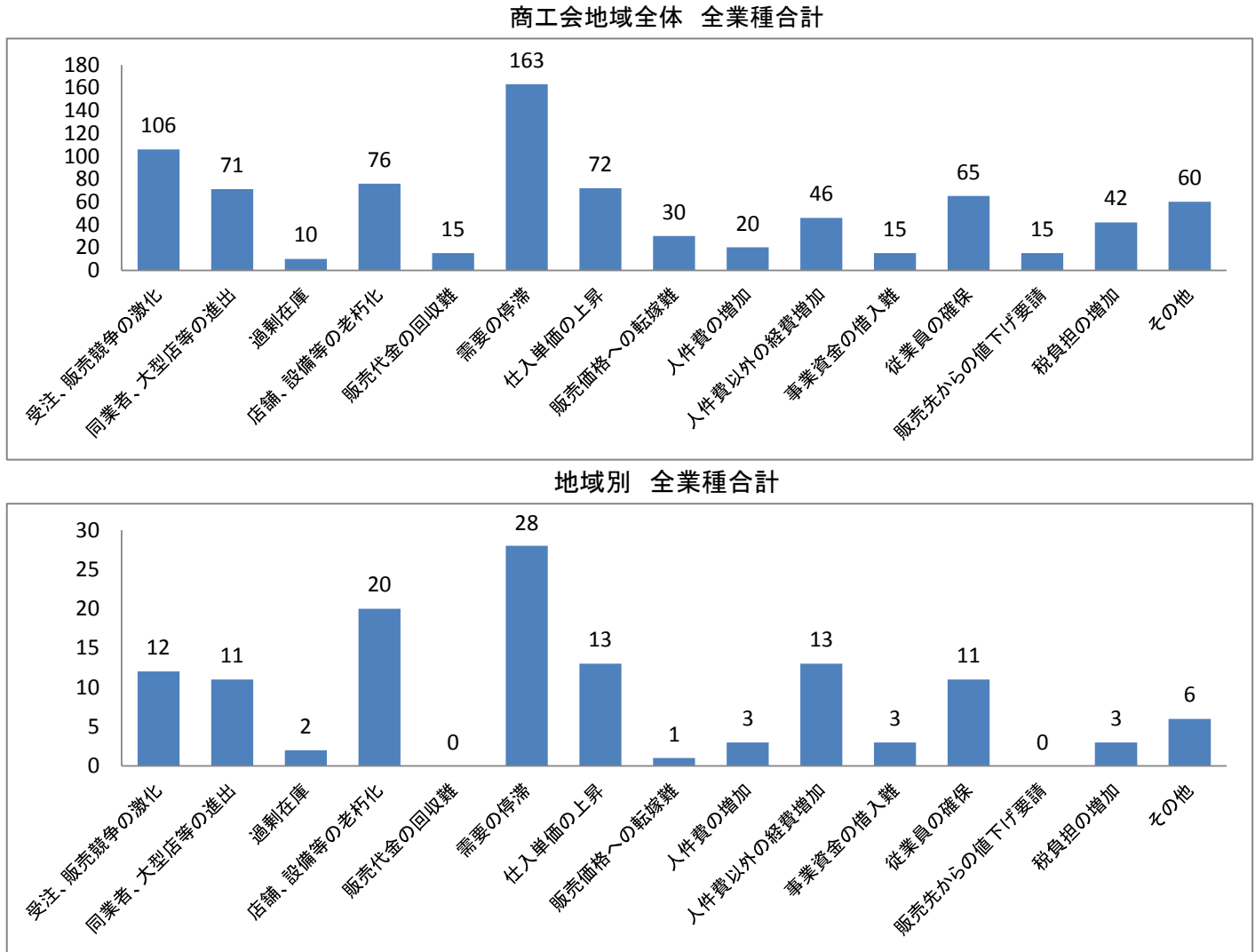
・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？



<全域コメント> 商工会地域全体の景況判断は、前年同期と比べて、全業種合計で△50.7ポイント悪化。特に卸・小売業は△60ポイントと悪化している。前期比でも△29.5ポイント悪化。特に飲食・宿泊業が△45.6ポイントと悪化している。今後の見通しでも、全業種で悪化と予想しているが、特に飲食・宿泊業が厳しい見方をしている。

<当地区コメント> 当地域の景況判断は前年同期比のDI値より△65.4ポイントと悪化を感じている事業所が大半である。好転と不変を合わせても3割に満たない数値であり、地域内景気は低迷していることがうかがえる。全体の今後の見通しでも△36.5ポイントを示しており、特に飲食・宿泊業は△68.4ポイントと厳しい見通しを示している。

8. 経営上の問題点（上位3つ）



<全域コメント> 商工会地域全体の経営上の問題点は、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「仕入単価の上昇」4位「同業者、大型店等の進出」5位「店舗、設備等の老朽化」6位「従業員の確保」7位「その他」となっている。

<当地区コメント> 当地区の経営上の問題点は、商工会地域全体と同じく需要の停滞を上げている事業所が一番多く、次いで店舗・設備等の老朽化を上げている。店舗施設の老朽化を問題としている事業所では、後継者もなく設備投資ができない事業所も多くあるように思われる。今後は代表者の年齢と後継者について詳細に調査が必要である。

9. 後継者の状況について

- 4月～6月時点での後継者の状況は

商工会地域全体 全業種合計

	有り	無し
建設業	39.6%	60.4%
製造業	50.0%	50.0%
卸・小売業	31.9%	68.1%
飲食・宿泊業	49.2%	50.8%
サービス業	41.5%	58.5%
全業種合計	40.4%	59.6%

地域別 全業種合計

	有り	無し
建設業	75.0%	25.0%
製造業	50.0%	50.0%
卸・小売業	37.5%	62.5%
飲食・宿泊業	52.6%	47.4%
サービス業	0.0%	100.0%
全業種合計	44.2%	55.8%

<全域コメント>
 商工会地域全体の後継者の状況については、全業種合計で59.6%の事業所で後継者が無い状況である。特に、卸・小売業では、68.1%の事業所で後継者が無い状況である。

<当地区コメント>
 当地域の後継者状況は、商工会地域全体に比べ若干良い傾向にある。しかし、サービス業においてはすべての事業所で後継者が無い状況である。

10. 景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

<全域コメント>

<建設業>

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化しているが、特に「売上」「採算性」の悪化が目立つ。しかし前期との比較では、「売上」は増加、その他項目の減少幅は小さくなっているが、これは当地域の特性であり、冬場と比べ仕事量が増えたことによるものと推察される。来期見通しでも、従来であれば当地域の特性から仕事量は増えて、期待感が高まるのが通例であるが、先行きを厳しく見ている。それは、経営上の問題点の1位「受注、販売競争の激化」2位「需要の停滞」を上げている方が多いことにも見られる。又、従業員の高齢化に伴うものと思われるが、経営上の問題点3位に「従業員の確保」が上がっていることは注目に値する。

<製造業>

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化している。「仕入単価」の上昇と「販売単価」の減少により、「採算性」が悪化すると共に、「売上」も減少している。前期との比較では、回復傾向は見られるものの、「仕入単価」の上昇が見られ、来期見通しでも、「仕入単価」の上昇が懸念され、需要の停滞と受注・販売競争の激化により、回復への期待感は低いものの従業員数を増加予想しており、期待感は若干ある。

<卸・小売業>

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化している。特に「売上」の減少が著しい。前期との比較では、悪化傾向は縮小している。経営上の問題点の1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」と外部要因を問題に掲げており、これを踏まえて来期の見通しも回復の期待が持てない結果となっているが、「店舗、設備等の老朽化」が経営上の問題点の4位となっており、内部要因を問題にしている方もいる。

<飲食・宿泊業>

今期の景況を前年同期で比較すると、「販売単価」の低下を含み「売上」が減少し、「仕入単価」の上昇も手かせとなり「採算性」も悪化している。前期(冬場)との比較では、「売上」を増加と減少と回答した方々は、ほぼ同数であるが、景況判断は悪い。来期見通しでは、仕入単価の上昇と販売単価の減少を含み「売上」減少を予想し「採算性」が悪化すると非常に厳しい見方をしている。経営上の問題点の1位が「店舗、設備等の老朽化」であり、内部要因を問題視している方が多い。

<サービス業>

今期の景況を前年同期で比較すると、すべての項目で悪化している。「売上」の減少により「採算性」も悪化しており、前期との比較でも、この傾向は変わらない。来期見通しについても、この傾向が継続すると予想している。経営上の問題点1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「受注、販売競争の激化」「同業者、大型店等の進出」が同数、5位「税負担の増加」となっている。

以上業種別景況概要を踏まえ、全産業ベースで前年同期と比べて悪化していると言える。前期(冬場)比では、本年の小雪の影響で建設業の売上が減少し、これが製造業を除く産業に波及し低迷していたものが、建設業は底辺から脱却しただけであり、製造業を除くその他の業種では、益々悪化している。来期の予想においては、国内外の政治・経済の動向、自然災害の影響などの不安材料と益々加速する少子高齢化等による人口減少を背景に、先行きを厳しく捉えている方が多い。

<当地区コメント>

<建設業>

当地域の建設業の景況は、前年同期比での回答で半数以上の事業所が「売上」「採算」について減少と回答しており、小雪による仕事量の減少が大きく影響していることがうかがえる。また、経営上の問題では、「需要の停滞」が一番多いものの、次いで「従業員の確保」を上げており、若手従業員の確保と技術承継が課題となっている。地域においては、冬期間は特に重要な業種でもあることから今後も注視してゆかなければならない。

<製造業>

当地域の製造業は、事業所数も少なく景況判断における判断を示しにくいところであるが、回答から見ると項目全体で「不変」との回答が多く、大きな変動はないものと思われる。経営上の問題に挙げられた項目も少数であるが、今後の変動に注視すべきである。

<卸・小売業>

当地区の卸・小売業の景況は、前年同期比での回答で8割を超える事業所が「売上」の悪化、5割を超える事業所で「採算」の悪化を回答している。仕入単価の上昇と販売単価の減少によるものが要因の一つといえるが、前期比及び今後の見通しでのDI値をみると前年同期比よりは改善される見通しである。経営上の問題点では、「需要の停滞」「大型店の進出」「店舗設備の老朽化」の順となっており、他地域への消費流出も課題となっている。今後は地域住民に対する需要動向調査などにより消費ニーズを把握し、情報提供したい。

<飲食・宿泊業>

当地区の飲食・宿泊業の景況は、前年同期比の回答状況は「売上」「採算」について高い数値で「悪化」を示している。しかし、前期比及び今後の見通しでの回答値は「不変」との回答が多く、昨年の大地の芸術祭とのギャップは少ないものと思われる。ただし、資金繰りについては前年同期比から今後の見通しまで「悪化」と回答している事業所が多く、今後は資金繰り不足による融資相談も増えることが予想される。経営上の問題では「店舗設備等の老朽化」「需要の停滞」「仕入単価の上昇」の順となっており、小規模事業者持続化補助金など補助金の活用も周知して支援したい。

<サービス業>

サービス業における景況も、「売上」「採算」についてDI値がマイナスポイントを示しているが、前期比及び今後の見通しでのDI値があまり変わらないことから、多少の改善がみられる模様である。しかし、後継者の有無をしてみると、全ての事業所で後継者がいない状況であり、事業所数減少が懸念される。また、理美容業では人口減少を問題としている事業所が多く、今後もこの影響は進行しそうである。

地域全体の景況を総括すると、前年同期比の景況は売上減少により採算の悪化を伴い、今後の見通しにおいても大きな改善がないまま厳しい経営状況が続くものと予想している事業所が多い。今後の調査においても経営における課題や景況動向に注視し的確な情報提供や経営支援に力を入れたい。